

北陸4大学連携 まちなかセミナー

入場無料



この秋、
北陸3県にて実施。

大学とは何をするとところでしょうか？

教育、研究、それだけではありません。

地域の皆さんの多様な生涯学習ニーズに応えることも大学の大事な使命です。

富山、金沢、福井、北陸先端科学技術大学院の4大学共催で、「知」との出会いの場を提供することになりました。

「北陸発の“子ども学”」

日時 11月18日(土) 14時～16時

場所 とやま市民交流館学習室(富山駅前CiCビル3F)(富山市新富町1-2-3)

講師 原田 克巳(金沢大学教育学部附属教育実践総合センター 講師)
「家庭で頑張る子どもたち」

氏家 靖浩(福井大学教育地域科学部附属教育実践研究総合センター 助教授)
「子どもが子どもらしくあるために大人ができること」

お問合せ 富山大学生涯学習教育研究センター 電話 076-445-6956 FAX 076-445-6956

「北陸発のふ・る・さ・と探訪」

日時 11月3日(金・祝) 14時～16時

場所 金沢大学大学教育開放センター(金沢市角間町)

講師 松浦 義則(福井大学教育地域科学部 教授)
「加賀一向一揆と越前大名」

鈴木 景二(富山大学人文学部 教授)
「加賀藩上級武士の旅 江戸～金沢の道中日記」

お問合せ 金沢大学大学教育開放センター 電話 076-264-5272 FAX 076-234-4045

「北陸発の先端産業」

日時 11月25日(土) 14時～16時

場所 福井大学アカデミーホール(福井市文京3丁目9-1)

講師 山口 昌樹(富山大学大学院理工学研究部 助教授)
「唾液で測るあなたの健康とストレス」

藤原 明比古(北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 助教授)
「フラーレン、カーボンナノチューブの材料開発と産業利用」

お問合せ 福井大学総務部評価課地域連携係 電話 0776-27-8060 FAX 0776-27-8878

北陸発、知的探求の旅。

富山
会場

金沢
会場

福井
会場

主催 / 富山大学 金沢大学 福井大学 北陸先端科学技術大学院大学

後援 / 富山県教育委員会 石川県教育委員会 福井県教育委員会

北陸4大学連携 まちなかセミナー

会場・テーマ・日時・講義内容等

(開催日順)

金沢 会場

金沢大学大学教育開放センター (金沢市角間町)

日 時 平成18年11月3日(金・祝日) 14:00~16:00

テーマ 『北陸発のふ・る・さ・と探訪』

講義1 加賀一向一揆と越前の大名

〈講師〉松浦 義 則 (福井大学教育地域科学部 教授)

〈要旨〉

中世後期の加賀一向一揆に対する周辺の大名の対応のなかでは、越前の大名朝倉氏と柴田勝家が注目されます。朝倉氏は富樫政親・幸千代の内戦時期から、加賀に関与しています。加賀と越前の対立は、1506年の加賀一揆軍の越前進入により決定的となり、加賀の大小一揆 (享禄の錯乱) の時には朝倉氏が小一揆支援のため加賀に進入し、そして最後は勝家軍の侵入により、百年近く支配を誇った加賀一向一揆も壊滅させられるのです。戦国期の政治動向は、一方の戦国大名の展開と他方の一向一揆の形成を二つの基軸としていますが、加賀・越前はこの二つの動向が地域的にも隣り合わせになっているという点で興味深いのです。

講義2 加賀藩上級武士の旅 ―江戸～金沢の道中日記― 〈講師〉鈴木 景 二 (富山大学人文学部 教授)

〈要旨〉

江戸時代、大名の国元と江戸藩邸のあいだには参勤交代だけでなく、多くの武士の往来がありました。加賀藩でも多くの武士が行き来し、その道中日記が残されています。今回のセミナーでは、家老にあたる前田土佐守家の若殿様の旅日記をとりあげます。時代は寛政の改革のころ、好奇心旺盛な彼は、道中の景色はもちろん、関所通過時の賄賂要求の実態や、難所親不知を越えるときのガイドの肉声まで書きとめています。庶民の旅とはまた違った武士の旅について、ご関心を持っていただければ幸いです。

富山 会場

とやま市民交流館学習室 (富山駅前 CiC ビル 3F 富山市新富町 1-2-3)

日 時 平成18年11月18日(土) 14:00~16:00

テーマ 『北陸発の“子ども学”』

講義1 家庭で頑張る子どもたち

〈講師〉原 田 克 巳 (金沢大学教育学部附属教育実践総合センター 講師)

〈要旨〉

小学校や中学校でスクールカウンセラーの仕事をしていますと、学校の先生からは子どもたちの落ち着きのなさや我慢のできなさについてお話を聞くことが多くあります。こうした子どもたちの様子の背景には軽度発達障害が存在している可能性も否定できません。しかしながら、家庭で頑張りすぎて学校で頑張るエネルギーがないという子どもの姿も伺えます。子どもにとっての家庭という場について、改めて考えてみたいと思います。

講義2 子どもが子どもらしくあるために大人ができること

〈講師〉氏 家 靖 浩 (福井大学教育地域科学部附属教育実践研究総合センター 助教授)

〈要旨〉

今を生きる子どもは、「子どもらしく」は、生きにくい時代のような気がします。大人が子どもを保護すれば、解決するでしょうか? いや、やはり子どもは子ども同士で汗し涙し失敗し、大人とも、けんかして、支えられて、そして支えて、子どもも大人になっていくように思います。チャイルドラインをご存じですか? 福井の街中を舞台にした、子どもと大人のユニークなパートナー関係をご紹介します。

福井 会場

福井大学アカデミーホール (福井市文京 3 丁目 9-1)

日 時 平成18年11月25日(土) 14:00~16:00

テーマ 『北陸発の先端産業』

講義1 唾液で測るあなたの健康とストレス

〈講師〉山 口 昌 樹 (富山大学大学院理工学研究部 助教授)

〈要旨〉

ストレスという言葉を目にしない日がなくなってきましたが、どうやらイライラや不安など、マイナスのイメージを現すことが多いようです。確かに、ストレスは、生活習慣病など様々な疾患の引き金のひとつと考えられています。つい最近、唾液を分析するだけで、ストレスや疲労などを計測できる新技術が開発されるようになりました。今回は、新技術により計測されたデータを基に、工学的側面から、ストレスとは何なのか、またストレスをなくすることはできるのか、といった素朴な疑問についてお話します。私達の健康を増進する方法と一緒に考えてみましょう。

講義2 フラーレン、カーボンナノチューブの材料開発と産業利用

〈講師〉藤 原 明 比 古 (北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 助教授)

〈要旨〉

フラーレン、カーボンナノチューブは、ナノテクノロジーを代表するキーマテリアルの一つであり、最近では、新聞の紙面を賑わすようになってきました。これらの材料は、スポーツ用品から電子デバイスまで、日常生活で利用する様々な製品に実際に利用されたり、利用されようと試みがなされたりしています。講演では、ナノテクノロジーというキーワードとともに、この材料の特徴、開発の現状、産業利用の展望について紹介します。